

令和8年度 立川市西砂学習館運営協議会会議録（第1回）

日 時：令和8年4月28日（火）午後6時～午後8時10分

出 席：大橋(会長)、加藤(副会長)、内金崎、坂東、長谷川、岩元、能村、森、広瀬
(敬称略)

欠 席：なし

傍 聴：2名

事務局：高木(西砂学習館係長)、三友(西砂学習館職員)、水崎(西砂学習館職員)

1 開会挨拶(会長)

(会 長)：第9期は6月から始まるため、第8期の会長として挨拶をする。地運協、地域学習館として、地域の実態を把握し、西砂町・一番町に住んで良かったと思えるエリアを作りたい。4・5月は講座の立上げ・精査をする。皆様のご意見を伺いながら、西砂学習館運営協議会、西砂学習館を拠点とした結びつきを作りたい。

2 令和8年度 生涯学習推進センター及び西砂学習館系の体制について

(事務局)：資料1を基に説明。

教育部長が、齋藤真志から下河辺康に変わった。また、西砂学習館には、人事異動があった。

(事務局)：他学習館から異動になった。よろしくをお願いします。

(事務局)：西砂学習館は今年度3人体制で従事し、地運協にも3人で出席する。

3 新委員の紹介について

(事務局)：西砂児童館の館長が、傍聴1から委員Aに変わられたため、4月1日付で委員Aに委員の委嘱をした。

(委員A)：一昨年度までは西砂児童館で、昨年度は若葉児童館で勤務した。西砂児童館に戻る形で館長になった。わからないことばかりなので、いろいろ教えていただきますよう、よろしくをお願いします。

(傍聴1)：今日は、委員Aに引き継ぐ形でこの会議に参加した。4月からは立川市内北地区4児童館の統括責任者として着任している。主に上砂児童館で在席していることが多いが、4館(若葉・上砂・西砂・幸)を巡回している。自分自身は地運協に育てていただいたと思っているため、委員Aにも皆さまのお力添えをいただきますようお願いいたします。

4 第6地区地域福祉コーディネーターの紹介について

(事務局)：各地区の地域福祉コーディネーターは2名配置され、本年度は、委員Bと傍聴2がこの地域の担当になる。地運協委員は、5月までは委員B、6月以降は傍聴2が務められる。

(傍聴2)：4月から6地区の地域福祉コーディネーターになった。前年度までは地域あんしんセンター立川で、成年後見制度等の分野の担当をした。これから勉強なので、

皆さんにいろいろ教えていただきながらがんばりたい。

5 協議、報告及び連絡事項

(1) 令和7年度 第11回運営協議会 (3/12) 運営協議会会議録 (案) について

(事務局)：修正点等がある場合には、5月8日(金)までに事務局に連絡をお願いする。

(資料3)

(2) 令和8年度 西砂学習館事業予定について

(事務局)：資料4を基に説明。

(会長)：新委員に向けて説明を加えると、この地運協で取り組む事業は「地域活性化講座」となる。良い案を出していただければありがたい。

「サマーイベント」：夏休みの子どもの居場所、学習支援を狙いとしている。

「ウィンターイベント」：冬休みの宿題の「書初め」と正月に関連したプログラムを主に行っている。書初めの講師は、西砂学習館利用団体の「団体1」に依頼している。

「地域再発見」：新住民のために、地域を知る講座を行っている。もちろん、長く住んでいる人にも参加してもらいたい。講師は知識が豊富な方なので、一つでも多くのことを今後も学びたい。

「にしすな親子塾」：子育て世代をターゲットに西砂児童館とコラボした事業だ。西砂児童館を会場にして親子で一緒に体験するような企画を行ってきた。

(3) 地域活性化講座 (認知症予防講座・サマーイベント) について

(事務局)：資料5を基に説明。

(委員B)：認知症予防講座は、例年行っている。内容は調整中だが、昨年度とほぼ同様の予定だ。前半の講義は、井ヶ田という職員(看護師)が行い、後半の体操は岩元喜代子さんをお願いする。

(会長)：予防に力点を置いた講座で、年1回集まれることを楽しみにしている人も多い。

(委員C)：ピアノは菌田さんに時間を空けておいていただくように依頼中だ。年1回のイベントなので楽しくやりたい。

(委員D)：講座の申込はいつからか。

(事務局)：5月25日号の広報に掲載するため、5月26日からになる。

資料8の3頁、「事業の評価」をご覧いただきたいが、講義と体操の時間配分は昨年同様でいいか。

(委員B)：打合せをしてから決定したい。

(会長)：後半の体操を楽しみにしている人が多いので、体操の時間を増やしたほうが受講者も楽しく、また集客も見込めるかと思う。

(委員E)：昨年は欠席が多かったが、原因は何か。

(事務局)：気温が高く、外出を控えた人が多かったのではないか。

(事務局)：資料6を基に説明。

(会長)：サマーイベントまでのタイムスケジュールを見ると、粗々の講座内容は5月時点で確認する必要がある。昨年度の講座内容で不適切なものがあったかということと、同様の講座を本年度も再度実施してもいいのかということを確認したい。

- (委員E)：講師Aは、ロボットの講座を今年もしてくれるのか。
- (委員D)：現時点で打診していないので、お答えできるものは何もない。
- (会長)：講師Bは、サマーイベント以外で講座をしているのか。
- (委員D)：学習館の多文化共生プロジェクトで「クリスマスカードをつくろう」という講座をしたが、それ以外はしていない。
- (会長)：「おともだちをつくろう」講座は、学年が高いほうが良いという感想がでていたが、いかがか。
- (委員E)：講師Cにも引き続きお願いしたい。日程次第だが、内諾は得ている。
- (会長)：「赤と黒のトランプゲーム」の講師Dは、市民企画講座も実施するなど企画案をいくつも持っておられる。中学の教員だったことから、子どもへの対応は熟知しているので今年も依頼したいし、ご本人もやりたいようだ。過去にサマーイベントで講師Dの講座を受講した子どもが高校生くらいになっていると考えられる。その子たちが関わってくれる仕組みができればいいのだが。
- (委員F)：講師Dは、特別支援学級で今も教えている。市民推進委員会では「ソーマキューブ（木製の立体パズル）で遊ぼう！」を実施する。この講座は、材料費が500円必要だが、現在募集中なのでご参加ください。
- (委員D)：まだオファーはしていないが、お囃子（中里と殿ヶ谷）を体験させてあげたいと考えている。殿ヶ谷の方には講座の説明をしたところ、郷土のことだし、加入したい気持ちもあるだろうから、快く引き受けてくれるのではないかという気がしている。中里の方には会う機会がないが、チャンスがあれば依頼してみたい。講座は、隔年でそれぞれの団体に依頼してもいいし、2団体一緒にやってくれれば、少し毛色の違う話をしてくれると思う。
- また、地元の農業についての講座もしてみたい。しかし、炎天下の中外出するのは難しいこと、座学の場合は、普段は農業をしている方なので大勢の前で話すことに慣れていないことなど課題がある。
- (会長)：この地域の農業は、大規模農業ではなく「都市型農業」として需要の高い作物を栽培している。地域に合った農業の形態を学ぶことはいいと思うが、実際に畑に出かけて触れることは難しい時期だ。
- (委員E)：畑にでかけないと、魅力が少ない。
- (委員G)：8月に外出するのは、引率も含めて難しいと思う。
- (事務局)：近隣農園の方は、よくテレビの取材を受けている。先日も原油高で農作用のビニール製品が秋になると不足するのではないかと saying していた。講座で話ができそうな方ではないか。
- (委員E)：今まで協力してもらったことはないが。（できるかもしれない？）
- (委員D)：もうひとつ提案したいのは「林業」に焦点を当てた企画。「たまり場」での会話の中で山の水が普段の生活を支えるという話題が出た。講座をするとすると、平日であることや費用の問題がネックになるだろうが、林業の講座は過去にしたことがないため、面白いと思う。
- (委員E)：近隣工務店に依頼することも考えられる。
- (委員G)：養樹園で、トピアリーだったか、ものづくり講座をしたいという企画が以前にあったと記憶している。

- (委員A)：科学講座の講師Eは、7月に立川で大きいイベントがあるようで講座をしていただくのは難しいかもしれないが確認してみる。
- (会長)：昨年の科学講座は児童の反応が非常に良かった。子どもたちがあっと驚く講座を提案してくれると思うので、講座可否について確認していただきたい。また、講師Fは、事務局からつないでもらう。しかし、「ちいちゃんのかげおくり」も夏休み中に戦争について考える機会として捨てがたい。
- (傍聴1)：地域活性化のため、まずは学生に確認してください。
- (委員E)：会長の絵画教室をしてはどうか。
- (会長)：絵画は、時間内に完結させることが難しい。過去に実施した「ペーパークイリング」のようなものであれば作品として完成できる。近隣高校で浮世絵をモザイクアートのようにしているのがあり、それができればいいが自分自身の研究が足りていない。
- (委員C)：1回で完成できなくても、毎回少しずつ多くの人の手で仕上げられれば良いと思う。
- (会長)：それを西武立川駅のコンコースに飾れば良いのだが。検討課題としたい。
- (委員A)：若葉児童館の職員が、貴重なカブトムシやクワガタムシを個人で育てている。生態系や育て方等の座学をしたうえで、実際に触ったりする講座をすることはできる。
- (傍聴1)：生き物を講座で取り扱うことはできるのか。児童館同士はすでに連携していて、講座の実績はある職員だ。
- (事務局)：生き物を扱うことに問題はない。個人的には、夏だし昆虫の講座はいいと思うが、男の子ばかりになるのではないかという懸念はある。
- (会長)：確認として、子どもたちは講座を選んで申込をするから、昨年実施した講座をそのまま企画してもいいのか。
- (委員C)：いいと思う。
- (事務局)：同じ講師で別内容の講座も考えられる。
- (委員B)：定員は決まっているのか。
- (事務局)：昨年度はすべて20人だった。
- (委員B)：講座によっては、定員を増減できるのか。
- (事務局)：難しい。
- (委員E)：講座内容によってはあり得ると思う。
- (委員A)：講座時間を教えてほしい。
- (事務局)：午前10時～正午、午後2時～4時を予定している。
- (委員B)：費用を集める企画はあるのか。
- (事務局)：受講者からは集金しない。
- (会長)：それでは、以下のとおり確認をお願いする。
- 委員D：講師A、講師B、お囃子団体、農業関係者、林業関係者
委員E：講師C
委員F：西砂川地区体育会
事務局：講師D、講師E、講師F、西砂図書館
- (会長)：企画案を、5月8日（金）までに事務局に提出してください。事務局でまとめ

たデータを基に、次回5月の会議で意見を交わしながら精査したい。ただ、今年の企画に $+\alpha$ となると、講座(案)数が増えてくる。正式に依頼できればいいのだが計画の段階なので、内々の打診でとどめてほしい。今年できなければ、来年以降依頼を検討したい。新委員が持っているネットワークや新規開拓を活用すれば、講座の内容も広がっていくだろう。

また、支援者については、大学だけでなく地域にも声をかけて増やしていきたい。

(委員C)：西武立川駅の掲示板に「お手伝い募集」のチラシを貼り出すのが効果的だと思う。

(会長)：青少健は、青少年の健全育成を図る大きな組織であるため、子どもたちの学びを側面から支援するという形で手伝いを依頼したい。また、各委員もお知り合いなどに声掛けしてください。多くの方の助けをいただきながら、子どもたちにとっていい学びの場を引き続き提供できればと思う。

(4) 第46回 西砂学習館まつり 第2回実行委員会について

(事務局)：資料7を基に説明。

チラシは、自治会、松中小、西砂小への配布に向けて準備中だ。

パンフレットは、本年度復活させた。作品展、各種催し、発表会、公開教室等、詳細を載せている。

発表会プログラムは廃止の予定だったが、実行委員会での議論で継続が決定した。津軽三味線コンサートは、4月25日から受付を開始し、開始当日の午前中に定員に達した。現時点で64人の申込があるため受付は終了しているが、締切後も申込電話がかかってくるため、断るのが心苦しい。高齢者にとっての三味線人気を実感した。4月25日号の広報に掲載したため、25日から受付を開始したのだが、自宅に広報が届くのが26日や27日の人がいたようだ。受付開始を遅らせれば良かったと後悔している。

まつり期間中は、ぜひご来館ください。

(会長)：学習館まつりは、学習館利用団体の発表の場で、実行委員会形式をとっている。学習館にとって、大きなイベントだ。

(5) 第8期 西砂学習館運営協議会報告書について

(事務局)：資料8を基に説明。

第8期の任期は、令和6年6月1日から令和8年5月31日までの2年間であることから、活動の記録を報告書にまとめる。お手元に配布した資料は報告書(案)であり、必ずお目通しいただき5月8日までにメール等でご意見をいただきたい。

「2年間の活動に対する感想・意見等」では、委員の皆さんのご意見を掲載する。現時点で3人の委員さんからご意見を頂戴しているので、まだの方は5月8日までにご提出をお願いします。

(6) 各委員から報告及び連絡事項

(委員)：5月9日(土)午後2時から青少健総会を天王橋会館で開催するため準備をしている。そこで今年度の活動が確定する。ご案内が届いた方は、ご参加ください。

来期の地運協委員について、会長から打診があったところだ。

(委員) : 西砂児童館は、学童組と上級生、中学生が主に利用している。また、3月まで小学生だった中1組も顔を見せている。西砂小の児童は、5年生が多く来館しており、低学年の学童組と一緒に遊んでいる。

西砂児童館は、外遊びが盛んにできることがありがたい反面、ボールが園外に出てしまうという難題を抱えている。地域の方のご理解があることに甘えてはいけなかつと思いつつ、子どもたちはのびのびと過ごせている。

また、西砂児童館は、近隣の松中保育園、松中幼稚園等の未就学の団体とも子育てひろばを通じて関係を築いている。それらのことから変化が出てくることが予想されるため、地運協の皆さまには今後もお力添えをお願いします。

(委員) : お手元のチラシをご覧ください。地域福祉コーディネーターは、地区異動などで大きく様変わりし、係長も変わった。6地区は、委員Bと傍聴2の2人のコーディネーターでがんばっていきたい。前任者は、4地区の担当になった。現在は産休・育休中のため、4地区は1人で担当する。

また、「西砂幸せ食堂」のチラシをお配りした。西砂学習館で活動している団体が主催。このイベントの定員は先着50人だが、少し多めに作っておられるため、今まで配れなかったことはないようだ。お年寄りの孤食の問題もあるため、誰でも大歓迎とのことなので、お知り合いにもお知らせください

(委員) : 各団体の総会準備で忙しい。また、市民推進委員会では、地運協メンバーの選定を進めている。

4月30日(木)市民推進委員会総会。立川ユネスコ協会会長の志村順子さんに講演を依頼した。志村氏は教育委員を数年間務め、子どもとの接点が多い方だ。「つながりが大切」という話をされると聞いているので、とても楽しみだ。

市民推進委員は、人数が減っているにも関わらず講座数が増えているため、運営に無理がないか心配してはいるが、何とかやっていきたい。

立川ユネスコ協会では、8月に3人の講師をお迎えし、講座と展示会をアィムで行う予定だ。

(委員) : 6月発行のきらり・たちかわの特集で、ようやく砂川学習館を採りあげることができた。表紙と裏表紙、中面2頁の4面にわたって、文字を少なめ、写真を多めの記事にした。表紙のデザインもイラストを入れたりして変化を加えているので、6月号を楽しみにしてほしい。

(委員) : 西砂パソコン倶楽部は、4月に講座をした。以前は参加されていたものの、事情で休会されていた人が、数人戻ってこられた。忘れずにしてくれたこと、ずっと参加されている人が快く受け入れてくれたこと等から、和気あいあいとしたいい雰囲気です講座を行うことができている。西砂パソコン倶楽部が10年以上続けられるのは、それらの人がいるおかげだとありがたく思っている。

また、3月に団体企画型講座を実施することが決定したので、少しずつ準備を進めている。

12月から民生委員を務めて改めて思うことは、地運協、青少健等それぞれがつながっているということだ。必要なところに、必要な情報を届けることができると思う。子どもに関する情報もあれば、この会議でもお伝えしたい。

(委員) : 一番町傾聴クラブで「傾聴を始めよう」という団体企画型講座を実施する。9月16日・30日にアイムの第3教室で行う。団体企画型講座は素晴らしいシステムで、講師料の補助、会場確保、受付等の事務的なことは行政がしてくれる。傾聴ボランティアの需要が増えてきていることから、ボランティアの人数を増やしたいと思っている。傾聴も正式にやろうとするとカウンセリングの基本だから難しいものだが、高齢者施設で入所者の話し相手になることであれば「自分でもできる」と思ってくれる方がいてくれる。傾聴クラブは、立川では錦で発足し、最も歴史が古い。そこから分かれて、4~5年前に一番町傾聴クラブができた。さらに、5月から栄町傾聴クラブがスタートする。これで、市内で3団体が活動することになる。しかし、現在のところ、傾聴ボランティアは全くのボランティアで、交通費や保険代等も出ない。今後それらが整備されるよう、錦傾聴クラブと協力し、行政にも働きかけている。

(委員) : 西砂川地区文化会の総会を5月23日(土)午後3時から西砂会館で行う。事業計画を承認いただき、音楽祭や文化祭などのさまざまな行事が実施できるようにがんばっていきたい。

立川第七中学校は、校長が交代した。入学式で「出る杭は打たれるという言葉があるが、出る杭は打たないでください」と述べられた。子どもの可能性を伸ばそうとしているいい教員だと思った。立川第七中学校ホームページの「校長コラム」をほぼ毎日更新し、地域の飲食店などの紹介をしたりしている。地域とのつながりをしっかり作りたいという思いが強い方だと感じる。4月30日に懇談を行う予定だが、この懇談の日程調整をするときに、地運協の話題を出した。地運協では学校とのつながりを大切に応援しているから、ぜひ先生も一度いらしてくださいとお誘いしたところ、学習館について知識がないため、いろいろと教えてくださいというお返事をいただいた。

地運協委員としても地域学校コーディネーターとしてもいい関係が築けそうだと楽しみにしている。

西砂寿教室は、55人の新体制でスタートした。今年は、10月にたましんRISURUホールの大ホールで、コーラスや体操等を披露する「芸能フェスティバル」という一大イベントがある。日頃の学習成果を発表したい、また、それぞれ健康で楽しい日々が過ごせるようにと思っている。5月24日の午後1時から、西砂学習館まつりの発表会がある。

コーラス槐も、日々奮闘し苦難の連続だが、がんばっているので、ぜひ発表を聞きに来てください。

(事務局) : 4月は、西砂寿教室の開講式、まつり準備等をした。

3月末に東京学芸大学の社会教育士ワークショップ(支援者のエンパワメント・サイクル)に参加した。学習館の異動を経たことによる戸惑いや、各館の特徴等について話し、とてもいい学びの機会を得ることができた。

(事務局) : 西砂学習館は遠いというイメージだったが、自宅が昭島のため「くるりんバス」を利用すれば短時間で到着することができ、最も近い館だった。

昨年は多文化共生プロジェクトに所属し、「ヒットライト帝国」という国を知っていますか?」講座をハイブリッド形式で実施した。講座開始直後に定員に達したこと、

講座終了後も続編講座を希望する方が多いことなど、非常に好評を得た。講師には、現在もトルコで発掘調査を続けている松村先生をお迎えした。ヒッタイト帝国を舞台にしたアニメーションが7月に公開されるそうで、松村先生が時代考証もされていることから、中高生等にも興味を持ってもらえるのではないかと期待している。来年3月にも続編講座をするべく準備中だ。

西砂学習館ではこれからがんばりたい。今後はまつりも担当する予定だ。

(事務局)：昨年度は、平和人権プロジェクトを担当した。戦後80年という節目の年だったため、様々な講座を実施したり、中学生の広島派遣事業の引率をしたりして、多忙な一年だった。今年は、市民力向上プロジェクトを担当する。既存のプロジェクトに収まりきれない企画、また、参加者が学習館の利用を継続するような講座をしていきたい。講座を受講して終わりではなく、その学習を継続するためにサークル化して、さらに学習館で活動してもらおうという目標を立てた。皆さんのお力をお借りして、学習館の利用者を増やしていきたい。

地運協は、令和8年6月から第9期になる。市民公募の募集期間は4月15日までだったが、まだ人数に余裕があるため5月12日まで延長した。この地域にふさわしい方がおられれば、ご推薦ください。現委員の皆さんには、ぜひ留任をお願いします。現在2名欠員のため、利用団体に声をかけ1名は確保できそうだが、あと1名については難しいため、ご相談したい。

6 その他

○次回の地域学習館運営協議会の日程について

※次回開催；次回は、令和8年5月13日（水）

次々回は、令和8年6月12日（金）

<配布資料>

- ・資料1 生涯学習推進センター（令和8年度）
- ・資料2 西砂学習館運営協議会委員名簿 [令和8年4月1日現在]
- ・資料3 令和7年度 立川市西砂学習館運営協議会会議録（第11回）（案）
- ・資料4 令和8年度 西砂学習館事業予定
- ・資料5 認知症予防講座企画書（案）
- ・資料6 西砂サマーイベントに向けての検討事項等について
- ・資料7 「第46回 西砂学習館まつり」第2回実行委員会資料*配布物は最新に更新
- ・資料8 第8期 西砂学習館運営協議会報告書（案）
- ・資料9 立川市立学校 校長・副校長・事務職員名簿（令和8年4月1日）
- ・資料10 原稿用紙（地域学習館運営協議会（第8期）2年間の活動に対する感想と意見）

<資料番号なし>

学校だより（西砂小学校・松中小学校・立川第七中学校）